

FDA と共に BPA の科学に耳を傾けましょう



Steven Hentges, Ph.D

2020 年 8 月 17 日(月)

SAFETY に投稿

最新の COVID-19 ニュース以外のものを読む時間があれば、ある種の食品容器に低レベルのパーフルオロアルキル化合物が存在すると主張している最近の話に気づいたかもしれません。この話は、このトピックに関する環境保護団体からの最近の報告に基づいています。

この記事には、元米国政府職員による引用がいくつか含まれています。記事の話題からは外れますが、引用の一つは、米国食品医薬品局(FDA)が、記事で取り上げられているパーフルオロアルキル化合物とは無関係の化学物質である BPA を、哺乳瓶やシッピーカップから「禁止」した理由について言及しています。これは、FDA が実際に任意の製品に BPA を「禁止」していた記事と何らかの形で関連しているかもしれません。但し、当局は BPA を禁止しておらず、引用は不正確です。

2011 年時点で、BPA ベースのプラスチックが哺乳瓶やシッピーカップに使用されなくなったことが明白になりました。このため、FDA は 2012 年 2 月 17 日付けの連邦官報でこれらの用途に BPA ベースのプラスチックを許可していた規則を撤廃する計画を発表しました。FDA は、特に安全性に基づいて何かを禁止した訳ではなく、単に不要な規則を削除しただけでした。FDA が規制を撤廃する計画された行動で述べているように、この行動は「安全性に基づいたものではなく、その食品添加物の使用に規制上の認可がもはや必要ないという事実に基づいています。」

その年の後半にこの措置は完了し、2012年7月17日付けの連邦官報の通知で発表されました。この通知では、規制の撤廃とともに、この措置は安全性に基づくものではなく、規制はもはや必要ないと説明するために同じ文言を繰り返していました。

これは古いニュースかもしれませんが、FDAとBPAの件でかなり面白くなってきました。この規制措置が行われたのと同じ頃、FDAはBPAの安全性をさらに評価するための包括的研究プログラムの研究を開始しました。BPAに関する関連研究も、NTP、米国疾病対策センター(CDC)、および米国環境保護庁(EPA)が実施しています。

これらの研究は、全部で約30の研究が完了し、発表されています。これらの研究をまとめると、次のことを確信できます。

- 消費者へBPA曝露は極めて低い。
- BPAは曝露後に身体が素早く排泄されます。そして
- 典型的消費者曝露レベルでは健康影響のリスクはありません。

これらの研究、特にFDA自身が実施した研究に基づいて、FDAはWebサイトでBPAの安全性を非常に分かりやすく取り上げています。「BPAは安全ですか?はい。」科学的証拠に関するFDAの継続的な安全性レビューに基づいて、利用可能な情報は、食品容器や食品包装で現在承認されている用途に対するBPAの安全性をサポートし続けています。